**様式１**

令和６年○○月○○日

公益財団法人岐阜県産業経済振興センター理事長　様

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 住所 | 〒○○○－○○○○  岐阜県○○市○○　○○－○ | |
| 企業名 | 株式会社○○○○ | |
| 代表者職氏名 | 代表取締役　○○　○○ |  |

令和６年度産学官共同研究助成金事業計画書

産学官共同研究助成金事業を実施したいので、別紙１ 助成金事業実施計画書、別紙２　助成金事業内容説明書を提出します。

**別紙１**　（1ページ以内に収めてください。）

**助成金事業実施計画書**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究題目 | | ※研究開発内容を表現するような適切な名称を記載してください。  （採択時には公開となりますのでご注意下さい。） | | | | | | |
| 企業等名 | | ※略称でなく、正式名称を記載してください。 | | | | | | |
| 所在地 | | ※事業所の住所（県内に本社がある場合は本社の住所）を記載してください。  ※研究グループの場合は、代表企業の住所を記載してください。 | | | | | | |
| 電話番号 | |  | | FAX番号 | | |  | |
| E-mailアドレス | | ※連絡担当者のアドレスを記載してください。（複数可） | | | | | | |
| 資本金･出資金 | | 千円 | | | 従業員数 | | | 人 |
| 研究開発の  実施場所 | | ※研究開発の実施場所の名称及び住所を記載してください。 | | | | | | |
| 研究期間 | | 交付決定日から令和　　年　　月　　日まで  ※最長で次年の２月末日です。 | | | | | | |
| 研究の目的  及び内容 | | 【目的】（140字以内・字数厳守）  ※研究開発の目的、研究開発の必要な理由簡潔・明瞭に記載してください。  （この※マークのコメントは原稿記入時に削除してください。） | | | | | | |
| 【内容】（200字以内・字数厳守）  ※研究内容を簡潔・明瞭に記載してください。 | | | | | | |
| 共　同　研　究　者 | 区分 | 所属 | 職氏名 | | | 役割分担 | | |
| 企業等 | 開発部 | 部長　○○○○ | | | ※役割分担を箇条書きで簡潔に記載してください。 | | |
| 大学等 | ○○大学○○学部 | 教授　○○○○ | | |  | | |
| 研究機関等 | ○○研究部 | 主任研究員  ○○○○ | | |  | | |
| 活用する大学等又は研究機関等の技術シーズの概要 | | ※共同研究先の技術シーズの内容を共同研究先ごとに簡潔・明瞭に記載してください。 | | | | | | |
| 備考  （研究分野） | | □　次世代自動車産業分野、航空宇宙産業分野に関する研究開発  □　ヘルスケア産業分野（医療機器、福祉用具等）に関する研究分野  □　脱炭素・資源リサイクル産業分野に関する研究開発  □　その他、県内産業の高度化に資する研究開発  ※該当する研究分野にチェック☑をしてください。 | | | | | | |

**別紙２**　（資料を含み10ページ以内に収めてください。）

**助成金事業内容説明書**

**１　研究開発の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| **（１）研究開発の必要な理由** |  |
| ※本研究開発に取り組むことになったきっかけ、必要性などを具体的に（必要に応じて具体例を挙げて）記載してください。  （例）  「市場ニーズが高まってきており・・・」  「従来の技術では問題が多く・・・」  「大学のシーズを自社の新製品開発に応用することとし・・・」  ※いかに共同研究先のシーズが自社のニーズとマッチしているかを示してください。  ※研究会等から創出された課題については、研究会設置・運営の経緯等も記載してください。 | |
| **（２）研究全体の概要** |  |
| ※【　　】内の項目についてそれぞれ記載してください。  （特に、研究開発が新たに取り組む（または取り組んでいる）ものなのか、もしくは既に確立された技術や製品の実証試験（またはそれらの改良）なのかを明確にしてください。）  【新規性】  ※どこに新規性があるのかを明確に記載してください。  （特に従来の技術、製品の問題点や新しく開発する技術、製品の優位性を示してください。）  （例）  「従来技術ではここまでしかできないが本研究では・・・・」  「従来このような製品は見られず、・・・」  「類似品は既に市場に出ているが、今回開発する製品は・・・・と・・・・という点で非常に優れており・・・」 | |
| 【現時点での問題点及び課題】  ※これまでの調査、予備試験等の結果を示し、現段階では何が問題であるのか、様々な解決すべき問題点とそれに対する研究の課題を記載してください。 | |
| 【研究開発の内容】  ※それぞれの研究課題に対して具体的に何を行うのか、いわゆる課題の解決法である研究手法を明確に記載してください。  （特に、自社で具体的に何を行うのかを示してください。）  ※研究内容に対する年間スケジュールを記載してください。 | |
| **（３）シーズの活用方法** |  |
| ※大学等や研究機関等の技術シーズをどのように活用するかを明確に記載してください。特に大学や研究機関等で実施することが、自社で行うこととどのようにつながっているかを示してください。 | |

**２　研究開発の成果・波及効果**

|  |  |
| --- | --- |
| 予想される研究成果と企業化の方法 | 研究成果による地域への期待される波及効果 |
| 【期待される成果】  ※課題の解決により何が得られるのか、どのような結果が予想されるのかを記載してください。  【実用化への取り組み】  ※実用化への取り組みについて、どのように進めていくのか、次の研究段階へのステップアップも含めて予定を記載してください。  （例）  当助成事業の成果を踏まえ、経済産業省の提案公募型研究開発事業に提案し・・・」  「認証機関において認証を受けた後に製品化を・・・」  「成果をもとにして生産設備の導入及び既存ラインの改良を試み・・・」  「本事業完了後、○年後にカタログに掲載して販売開始を目標とし、・・・」  「販売会社を新たに設立し・・・」 | ※実用化に成功した場合、どのような波及効果が期待できるのか、会社の収益はどの程度見込めるかなどの将来像などを記載してください。  （特に波及効果は市場ニーズと照らし合わせて示してください。） |

**３　共同研究項目**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 担当  機関 | 研究項目 | 研究内容 |
| 企業等 | ※各機関でそれぞれ分担する研究項目を記載してください。（箇条書き可） | ※各機関で実施する各研究項目について、具体的に行う内容を記載してください。 |
| 大学等 | ※企業等分と同じ要領で記載してください。 | ※企業等分と同じ要領で記載してください。 |
| 研究機関等 | ※企業等分と同じ要領で記載してください。 | ※企業等分と同じ要領で記載してください。 |

**４　申請者の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| **（１）事業の内容** |  |
| ※営んでいる主な事業及び主たる生産品目名、年間生産額等を記載してください。  ※研究グループは代表企業について記載してください。 | |
| **（２）申請者の略歴** |  |
| ※企業の場合にあっては企業の略歴を記載してください。  ※研究グループは代表企業の略歴を記載してください。 | |

**５　研究開発の組織**

|  |  |
| --- | --- |
| **（１）主任研究者の氏名及び略歴** |  |
| ※企業等で研究に携わる方の中で、研究の総括責任者について記載してください。（代表１名） | |
| **（２）研究担当者の氏名及び職名** |  |
| ※企業等で研究に携わる方の中で、（１）以外の方について記載してください。（複数可） | |
| **（３）共同研究者の職氏名及び所属** |  |
| ※研究委託先（大学等・研究機関等）の研究担当者について記載してください。  （例）  ○○大学工学部□□学科　　教授　△△  岐阜県●●研究所　■■研究部　専門研究員　▲▲ | |

**６　研究開発の資金計画**

**（１）助成事業の経理担当者の氏名及び職名**

　　※企業等で助成事業の経理に携わる方の職氏名を記載してください。

**（２）資金調達内訳**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 金額（円） | 資金の調達先 |
| 自己資金 | （例）　１，１６２，１２３ |  |
| 借入金 |  |  |
| 助成金 | （例）　１，７７７，０００ |  |
| その他 |  |  |
| 助成事業に要する経費 | （例）　２，９３９，１２３ |  |

**（３）資金支出内訳**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 種別 | 助成事業に  要する経費(円) | 助成対象  経費(円) | 助成金交付  申請額(円) | 備考 |
| 原材料費 | （例）  エタノール３L　５本  アルミナ粉末２５ｋｇ　５袋  シリカ粉末２５ｋｇ　１０袋 | ５０，４１３  １３，７５０  １１，０００ | ４５，８３０  １２，５００  １０，０００ |  |  |
| 計 | ７５，１６３ | ６８，３３０ | ４６，０００ |  |
| 工具器具費 | （例）  試験用型枠　３個 | ５２，８００ | ４８，０００ |  |  |
| 計 | ５２，８００ | ４８，０００ | ３２，０００ |  |
| 機械装置費 | （例）  ハンディ型マイクロスコープ　１台  真空乾燥機　１台 | ４０２，６００  ８６３，５００ | ３６６，０００  ７８５，０００ |  |  |
| 計 | １，２６６，１００ | １，１５１，０００ | ７６７，０００ |  |
| 外注加工費 | （例）  粒度分布測定　３検体 | ２７，０６０ | ２４，６００ |  |  |
| 計 | ２７，０６０ | ２４，６００ | １６，０００ |  |
| 国内特許  出願経費 | （例）  特許出願　１件 | ３６３，０００ | ３３３０，０００ |  |  |
| 計 | ３６３，０００ | ３３０，０００ | ２１６，０００ |  |
| 委託研究等  経費 | （例）  共同研究経費（○○大学）  委託研究経費（○○研究所） | ８２５，０００  ３３０，０００ | ７５０，０００  ３００，０００ |  | ○○教授  ○○部 |
| 計 | １，１５５，０００ | １，０５０，０００ | ７００，０００ |  |
| その他 |  |  |  |  |  |
| 計 | ０ | ０ | ０ |  |
| 合計 |  | ２，９３９，１２３ | ２，６７１，９３０ | １，７７７，０００ | ※助成金申請額（千円未満切り捨て） |

［記載上の注意］

１ 「種別」とは、原材料・副資材名、機械装置名、部品・工具器具名等をいい、「○○一式」というような表現でなく、実際に購入する物品名、外注内容等および数量を記載してください。

２　「助成事業に要する経費」とは、当該研究を遂行するに必要な経費（税込み額）をいいます。

３　「助成対象経費」とは、「助成事業に要する経費」のうちで、消費税等を控除した額をいいます。共同研究経費や委託研究経費は消費税相当額を除いた額を助成対象経費とします。

４　「助成金交付申請額」とは、「助成対象経費」のうちで、助成金を希望する額で、その限度は、「助成対象経費」に補助率（２／３）を乗じた額になります。

※助成金交付申請額の全合計額は、千円未満切り捨てとしてください。

５　備考欄には、委託研究等経費について、研究委託先の研究担当者名または部課名を記載してください。

６　物品購入に係る運送費及びすべての支払における振込手数料は助成対象外です。

７　子会社、関連会社等からの調達或いは外注は助成対象外とします。

８　機械装置、工具器具等をレンタル契約等で使用する場合、助成対象期間分のみを按分比例により算出してください。（交付決定日以前に契約したものは助成対象外であり、交付決定日以降の契約に限ります。）

９　目的外使用の疑いが強いものについては助成対象外とする場合があります。

１０ 「国内特許出願経費」とは、助成事業の結果生じた国内特許出願の出願のみに要する経費（弁理士への手続代行費用を含み、印紙代を除く。）をいい、交付決定日以降から助成事業完了日までに各手続、支払が完了していることが必要です。

１１ 「委託研究等経費」とは、大学、研究機関等との共同研究、委託研究等に要する経費をいい、大学への奨学寄付金は助成対象外です。

１２　「委託研究経費」に掛かる助成対象経費の額は、助成対象経費の総額の４０％を限度とします。

１３　研究グループ、組合等で申請する場合、構成する企業や個人等の間で生じる経費については助成対象外です。

**７　助成事業後の計画**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 実施者 | 実施内容 |
| 助成事業終了後  初年度 | ○○株式会社  ○○大学  ○○研究所 | ＪＳＴ○○○○事業に提案  特許出願 |
| ２年度 | ○○株式会社  ○○大学  ○○研究所 | 経済産業省研究開発○○委託事業に提案 |
| ３年度 | ○○株式会社  ○○大学  ○○研究所 | 経済産業省研究開発○○委託事業を継続実施  特許出願 |
| ４年度 | ○○株式会社 | 独自で事業化のための研究開発  販路開拓、設備導入 |
| ５年度以降 | ○○株式会社  □□株式会社 | 製品販売開始（助成事業終了後○年目）  販売会社設立（助成事業終了後○年目） |

**８　助成金等の交付を受けた実績**

　　※　これまでに国、県、市町村、財団等から支援を受けて実施した研究開発に関する助成（補助）事業、委託事業等について記載してください。また、事業実施後の企業化状況も簡単に記載してください。（本テーマに関連しないものも含めます）　実施したことが無い方は「無し」と記載してください。

（例）

　令和○○年度○○○委託事業（○○○省）

　　委託事業名「○○○に関する研究」　委託費　○○，○○○，○○○円

（※　金額は確定額を記載してください。額が確定されていない場合は、交付決定額或いは委託契約の額を記載し、〔未確定〕と記載してください。

**９　現在申請中の助成金等**

※　現在申請中の他の助成（補助）金及び他の委託事業があれば、その名称、交付者及び金額を記載してください。（本テーマに関連しないものも含めます）

（例）

　令和○○年度○○○事業費補助金（○○○県）

　　補助事業名「○○○に関する研究」　交付決定額　○○，○○○，○○○円

**別紙３**

**専門用語の解説**

※　計画書中に使用した専門・略語等について、個々に簡潔に（１件最大３００字程度）記載してください。

（例）

○○○：□□□□□□□□□の略語で、○○○を○○するものであり、・・・・・

**別紙４**（研究グループのみ）

**研究グループの構成員一覧表**

**（研究グループ名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 構成員氏名  （企業等名及び代表者職氏名） | 構成員住所 | 従業員数  （人） | 資本金  （千円） | 営んでいる主な事業 | 賦課金額  （円） |
| ○○○○  （○○㈱：代表取締役 □□□□） | 岐阜県岐阜市○○○ | 50 | 10,000 | 金型設計、製造・販売 | 400,000 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 計 | | | | |  |

※賦課金額の合計は、「助成事業に要する経費」と一致するようにしてください。**様式２**

**研究開発概念図**

|  |  |
| --- | --- |
| 企業名 | ○○○株式会社 |
| 研究題目 | 「○○○に関する研究」 |
| 共同研究者 | ○○大学○○学部　○○教授、○○○○研究所○○部　○○研究員 |

【研究開発の概要】

※　以下、フリーフォーマットです。本研究開発の目的・目標・方法・内容（従来技術と本技術の違いが明確に分かる）・研究体制を分かりやすくビジュアルに表現した概要図を作成してください。

**様式３**

**委託研究等積算内訳書**

|  |  |
| --- | --- |
| 企業名 | ○○○株式会社 |
| 研究題目 | 「○○○に関する研究」 |
| 共同研究者 | ○○大学○○学部　○○教授、○○○○研究所○○部　○○研究員 |

積算内訳

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | | | 種別 | 数量 | 単価（円） | 金額（円） | 備考 |
| 直接経費 | 謝金 | |  |  |  |  |  |
| 旅費 | |  |  |  |  |  |
| 研究費 | 消耗品費 |  |  |  |  |  |
| 印刷・製本費 |  |  |  |  |  |
| 人件費 |  |  |  |  |  |
| 雑役務費 |  |  |  |  |  |
| 通信運搬費 |  |  |  |  |  |
| 光熱水料 |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |
| 研究費計 | | | |  |  |
| 直接経費計 | | | | |  |  |
| 一般管理費 | | | | | |  | 直接経費の##％ |
| 合計 | | | | | |  |  |

※委託先ごとに作成してください。

※委託先名は所属及び担当者の職氏名を記載してください。

※一般管理費を計上する場合、は直接経費の何％なのかを備考欄に記載してください。

**様式４**

令和　　年　　月　　日

公益財団法人岐阜県産業経済振興センター理事長　様

（共同研究機関名）

（共同研究者職氏名）

産学官共同研究助成金事業計画意見書

令和６年度産学官共同研究助成金事業計画　研究題目「○○○に関する研究」については、以下のとおりです。

※本意見書は計画書提出者（企業等）が記載するものではありませんのでご注意下さい。

※本助成金事業計画についての意見を共同研究者（大学等、研究機関等）が記載し、計画書と一緒に提出してください。

※共同研究先が複数ある場合は、共同研究先ごとに作成してください。

※資料を添付する場合は最低限のものとしてください。

**様式５**

**チェックシート（令和６年度産学官共同研究助成金）**

|  |  |
| --- | --- |
| 企業名 | ○○○株式会社 |
| 研究題目 | 「○○○に関する研究」 |

|  |  |
| --- | --- |
|  | 書類名・様式名 |
| 計画書 | 様式１ 令和６年度産学官共同研究助成金事業計画書  □表紙 （１ページ）  □別紙１ 実施計画書（１ページ）  □別紙２ 内容説明書（資料を含み10ページ以内）  □別紙３ 専門用語の解説（２ページ以内）  □別紙４ 構成員一覧表　※研究グループのみ |
| 補足資料 | □　様式２ 研究究開発概念図（１ページ）  □　様式３ 委託研究等積算内訳書（委託先ごとに１ページ）  □　様式４ 産学官共同研究助成金事業計画意見書（委託先ごとに１ページ）  □　様式５ チェックシート（本ページ）  □　積算金額の根拠資料（見積書、価格表等）  □ 会社概要（パンフレット等）（１部）  □ 定款（１部）  □ 登記簿謄本または現在事項全部証明書（１部）  □ 直近の決算書（１部）  □ 規約（１部）　※研究グループのみ |

　　　 　　　　　　　　　　※確認後、チェック欄「□」にチェック ☑ をしてください。

〔その他〕

本研究開発を申請するにあたり、きっかけとなった事項のうち、以下で該当するものがありましたら、チェック欄「□」にチェックをしてください。

□　当センター主催の講演会、セミナー、実習

□　ぎふ技術革新センター運営協議会主催のセミナー

□　当センターのコーディネータによるマッチング

□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）